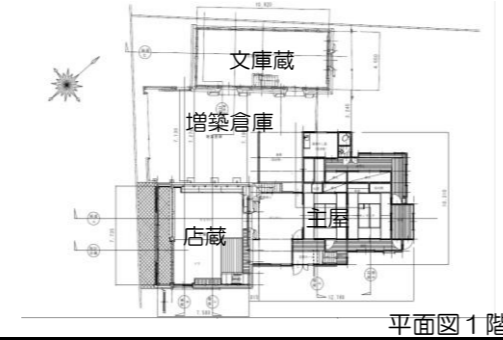


現況の外観及び平面図



増築倉庫は解体します



平面図1階



平面図2階

耐震改修案のメリット・デメリット

メリット

- ・建物全体が活用できる
- ・安全性が確保できる
- ・現行建築基準法における構造以外の規定についても適合させやすい
- ・活用に合わせた増築も容易である

デメリット

- ・歴史ある内外観の多くを失う
- ・活用方法への影響が大きい
- ・耐震改修前の状態に戻せない
- ・改修費用負担が大きく、工期が長くなる（主屋）

ア 店蔵（基礎を補強し、外観の一部、及び内観全面を改修する案）

概算工事費 約3,600万円

(ア) 屋根はふき土を撤去し、瓦を軽量瓦に改修

(ア) (エ) の瓦の改修や耐震壁設置により外観に影響あり

(オ) 袖壁新設(耐震壁)

(オ) 袖壁設置の影響により有効に利用できる面積が約20%減

(ウ) 構造用合板による補強により、仕上(漆喰塗)が視認できない

(ウ) 構造用合板補強

(イ) 基礎はジャッキアップし、RC基礎へ造替え

(イ) 切り離す

(ア) (イ) (ウ) 劣化部材の交換やRC基礎造変えのため一度解体の上、再建築

(イ) 店蔵との接合部撤去し、別棟とする

(エ) 外壁撤去・耐震壁新設(窓開口部消失)

1階平面図

(オ) 袖壁新設(耐震壁)

(ウ) 構造用合板補強

断面図

イメージ写真

イ 主屋（一度解体の上、基礎、部材を補強し、建物全体の改修を行う案）

概算工事費 約6,200万円

主な耐震改修の範囲

概算工事費
3棟合計
約13,400万円

(イ) 切り離す

(ア) (イ) (ウ) 劣化部材の交換やRC基礎造変えのため一度解体の上、再建築

(イ) 店蔵との接合部撤去し、別棟とする

(エ) 柱新設

(エ) 構造用合板補強

(エ) 構造用合板補強

1階平面図

断面図

(ア) 建物を解体し、劣化している部材の交換

(ウ) RC基礎へ造替え

ウ 文庫蔵（基礎を補強し、外観の一部及び内観全面を改修する案）

概算工事費 約3,600万円

(ア) ふき土撤去及び瓦を軽量瓦に改修

(ウ) 3階床撤去

(オ) 構造用合板補強

(イ) 外壁は旧東海道に面する土壁面のみ保存

(イ) 外壁3面をハツリ、漆喰塗復元

断面図

(エ) 既存基礎の内側にRC基礎

※概算工事費は耐震改修に関わる工事費のみ